

# Weekly Accounting Review

2010年6月9日 (No.059)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

- 会計①／退職給付に関する会計基準（案）及び退職給付に関する会計基準の適用指針（案）に対する意見について
- 会計②／企業会計審議会総会の開催について

【先週の特別損益等 I R】

- 大和システム株式会社：たな卸資産評価損の計上
- 株式会社サガミチェーン：資産除去債務の計上に伴う特別損失の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

※全5件御座いました。

## 1. 退職給付に関する会計基準（案）及び退職給付に関する会計基準の適用指針（案）に対する意見について（6月8日）

日本公認会計士協会は退職給付に関する会計基準（案）及び退職給付に関する会計基準の適用指針（案）に対する意見を公表しております。

[http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized\\_field/3935.html](http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/3935.html)

当該意見書によると、

- ・ 割引率に係る 10%の重要性基準（適用指針案第 30 項）については、国際財務報告基準の原則主義とも整合しないため、廃止すべき
- ・ 退職給付見込額の期間帰属方法の見直しについて、期間定額基準は廃止して、給付算定方式のみを採用すべき

との意見が述べられております。

## 2. 企業会計審議会総会の開催について（6月8日）

企業会計審議会総会が開催されました。

[http://www.fsa.go.jp/singi/singi\\_kigyousiryousoukai/20100608.html](http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kigyousiryousoukai/20100608.html)

当総会において、上場企業の個別財務諸表のあり方について検討が行われております。

包括利益の表示及び負債資本の区分に関しては、財務諸表の有用性の観点から連結と個別で異なる表示とする理由がない（＝投資家が理解をしにくい表示となっております）としています。また、収益認識は、連結と個別で異なる基準を用いることは理由がなく、二つの基準を用いることは事務処理が煩雑であり経営管理上も数値管理が困難であるとしています。

## ショート・コメント

連結財務諸表の I F R S 適用に伴う個別財務諸表のあり方は投資家の観点だけでなく、債権者等金融機関等の評価や税務の観点からも検討すべき部分も存在するため、簡単には決定できない問題であるため、よりよい検討が望まれます。

### 3. 先週の特別損益等 I R (5月31日～6月4日)

#### **(1) 大和システム株式会社 (証券コード 8939、東証一部) : たな卸資産評価損の計上【6月1日】**

大和システム株式会社は、販売用不動産について、鑑定評価に基づき資産価値を精査した結果、たな卸資産評価損 24,964 百万円を売上原価に計上しております。そのため、平成 22 年 3 月期の営業利益が▲26,879 百万円となっております。また、評価損計上後の販売用不動産の簿価は約 260 億であり、販売用不動産の約半分について評価損を計上しております。

なお、株価は発表日直前終値 134 円から発表日翌日終値 124 円と 10 円下落しております。

#### **(2) 株式会社サガミチェーン (証券コード 9900、東証・名証一部) : 資産除去債務の計上に伴う特別損失の計上【6月3日】**

株式会社サガミチェーンは平成 23 年 1 月期より、資産除去債務に関する会計基準を適用に伴い、店舗における契約終了後の原状回復義務に係る費用について、期首時点で発生する影響額 268 百万円を特別損失に計上することとしました。これに伴い、有形固定資産を 52 百万円、資産除去債務 320 百万円を計上しております。

3 月決算会社は通常、2010 年 4 月 1 日からの事業年度より資産除去債務に関する会計基準を適用することとなります。資産除去債務に関する会計基準上、資産除去債務が見積もれない場合は注記する規定が存在しておりますが、監査法人は見積もれないケースは極めて限定的として、会社側に資産除去債務の計上を迫るケースが多々あるようです。しかしながら、資産除去債務の履行時期が実際に見積もれない場合にも、無理に資産除去債務を計上することは、「金額の合理的に見積もることができる」という引当金の計上要件との整合性が取れず、投資家等に対し、誤った情報を提供しかねません。よって、資産除去債務については監査法人の要求をそのまま鵜呑みにせず、より深く合理的な見積もりができるかどうか検討すべきと考えられます。

なお、株価は発表日直前終値 559 円から発表日翌日終値 554 円と 5 円下落しております。

### 4. 先週の会計監査人交代等 I R (5月31日～6月4日)

先週の会計監査人交代等 I R は以下の通りです。

月日	会社名	市場(番号)	就任監査人	退任監査人	交代理由
6月2日	ジェーシー・コムサ	JASDAQ(2876)	監査法人双研社	あずさ監査法人	任期満了
6月2日	大木	JASDAQ(8120)	太陽ASG監査法人	東陽監査法人	任期満了
6月3日	KFE JAPAN	セントレックス(3061)	日之出監査法人	太陽ASG監査法人	任期満了
6月4日	アニコム ホールディングス	マザーズ(8715)	新日本有限責任監査法人	あらた監査法人	任期満了
6月4日	STEILAR C. K. M	東証一部(8141)	清流監査法人	アスカ監査法人	任期満了

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / [t-hashimoto@esnet.co.jp](mailto:t-hashimoto@esnet.co.jp)